

第3章 プログラムの修復と削除 79

- 1 データベースの削除..... 80
 - 1-1 データベース(YAYOI インスタンス)の削除80
 - 1-2 SQL Server 2014 の場合80
 - 1-3 SQL Server 2012 の場合84
 - 1-4 SQL Server 2008 R2(2008)の場合87
 - 1-5 SQL Server 2005 の場合91
 - 1-6 SQL Server 2000 の場合92
- 2 一括バックアップツールの修復と削除..... 93

第4章 困ったときは 95

- 1 設定の詳細..... 96
 - 1-1 環境の設定の詳細96
 - 1-2 インストール中の設定の詳細109
- 2 エラーが表示された場合の対処方法..... 110
 - 2-1 インストール110
 - 2-2 データの新規作成／コンバート／製品の起動／
バックアップなど112

第5章 付録 115

- 1 既に弥生製品をお使いの場合 116
- 2 SQL Server 2000 からの移行 117
- 3 データを保存するコンピュータの変更..... 118

1**セットアップ前の確認**

セットアップを行う弥生製品の種類と弥生製品を運用するシステム構成のほか、ネットワーク(LAN)環境の確認が必要です。

この章では、セットアップの前に必要な確認事項などについて説明します。

- 1 データベースに関する注意 6
- 2 ネットワーク環境に関する注意 10

1 データベースに関する注意

弥生製品のデータは「YAYOI インスタンス」という弥生製品用のデータベースに保存されます。そのため、弥生製品を使用するにはデータベースが必要です。ここでは、データベース環境について確認します。また、既にお使いのデータベース環境に弥生製品をインストールした場合についても確認します。

1-1 弥生製品で使用するデータベースについて

弥生製品プロフェッショナル 2 ユーザー/ 弥生会計 AE

弥生会計プロフェッショナル 2 ユーザー、弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー、弥生会計 AE では、Microsoft SQL Server 2008 R2 Express (以降 SQL Server 2008 R2 Express と表記) を使用します。SQL Server 2008 R2 Express は、本製品の DVD-ROM からインストールできます。

- データ領域は、1 事業所データにつき最大 10GB です。

弥生製品ネットワーク with SQL /for SQL

弥生会計ネットワーク、弥生販売ネットワークでは、Microsoft SQL Server 2014、Microsoft SQL Server 2012、Microsoft SQL Server 2008 R2/2008、Microsoft SQL Server 2005 が必要です。以降は、Microsoft SQL Server を「SQL Server」と表記します。

● 弥生製品ネットワーク with SQL

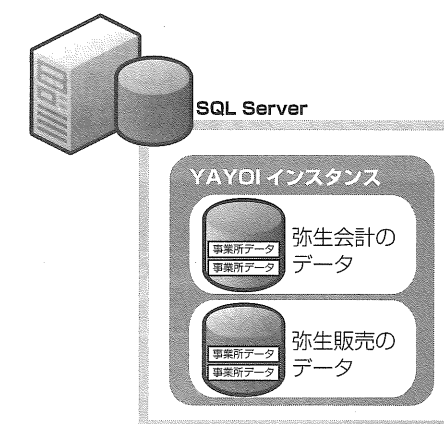
SQL Server 2014 Standard が同梱されています。同梱されている SQL Server 2014 Standard は「サーバー/CAL ライセンス」です。弥生以外のアプリケーションでの使用、テーブルの追加などはできません。16 コアを超えるサーバーでの使用はできません。

● 弥生製品ネットワーク for SQL

別途、SQL Server 2014、SQL Server 2012、SQL Server 2008 R2/2008、SQL Server 2005 のいずれかが必要です。

1-2 データベースと YAYOI インスタンス

弥生製品のデータは「YAYOI インスタンス」という弥生製品用のデータベースに保存されます。



● 弥生製品プロフェッショナル 2 ユーザー、弥生会計 AE

SQL Server 2008 R2 Express をインストールすると、弥生製品用の YAYOI インスタンスが作成されます。

● 弥生製品ネットワーク with SQL

同梱されている SQL Server 2014 Standard をインストールすると、弥生製品用の YAYOI インスタンスが作成されます。

● 弥生製品ネットワーク for SQL

弥生製品用の YAYOI インスタンスを作成する必要があります。

1-3 SQL Server 2014、SQL Server 2008 R2 のインストール前の確認事項

- TCP/IP などのネットワーク設定が正しく行われている必要があります。ネットワーク環境については P10 を参照してください。
- SQL Server 2008 R2 をインストールするには、Windows Installer 4.5 以降および、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 が必要です。
- SQL Server 2014 をインストールするには、Windows Installer 4.5 以降、PowerShell 2.0、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 および Microsoft .NET Framework 4.0 が必要です。
- <既に SQL Server がインストールされている場合のみ>
既に SQL Server を使用している場合はデータベースのインストール前に、名前付きインスタンス数が 50 個未満であることを確認してください。インスタンスは、最大 50 個まで作成できます。
なお、事業所データは「YAYOI インスタンス」に作成されます。作成できる事業所データの数に制限はありません。

1-4 既に SQL Server がインストールされている場合

既に SQL Server がインストールされているコンピューターに、弥生製品の DVD-ROM からデータベースをインストールすると、次のようになります。他のバージョンの SQL Server との混在については、次の表を確認してください。旧バージョンの SQL Server と混在させる場合は、必ず旧バージョンの製品からインストールします。インストール済みの SQL Server よりも古いバージョンを後からインストールすると、正常に動作しなくなることがあります。

現在の環境	YAYOI インスタンスが存在する	YAYOI インスタンスが存在しない
SQL Server 2014	既に存在する YAYOI インスタンスをそのまま使用 (データベースはインストールされません)	YAYOI インスタンスを作成
SQL Server 2012		弥生製品ネットワーク with SQL: SQL Server 2014 Standard をインストールして YAYOI インスタンスを作成 弥生製品プロフェッショナル 2 ユーザー、弥生会計 AE:YAYOI インスタンスを作成
SQL Server 2008 R2 (SQL Server 2008 R2 Express)		弥生製品ネットワーク with SQL: SQL Server 2014 Standard をインストールして YAYOI インスタンスを作成 弥生製品プロフェッショナル 2 ユーザー、弥生会計 AE:SQL Server 2008 R2 Express をインストールして YAYOI インスタンスを作成
SQL Server 2008 (SQL Server 2008 Express)		弥生製品ネットワーク with SQL: インストールできません 弥生製品プロフェッショナル 2 ユーザー、弥生会計 AE:SQL Server 2008 R2 Express をインストールして YAYOI インスタンスを作成
SQL Server 2005 (SQL Server 2005 Express)		
SQL Server 2000 (MSDE 2000)	弥生 15 シリーズでは、動作対応外です。既に存在する YAYOI インスタンスは使用できません (データベースはインストールされません。SQL Server 2014 または SQL Server 2008 R2 へ移行してください) → SQL Server 2000 からの移行(P117)	弥生製品ネットワーク with SQL: SQL Server 2014 Standard をインストールして YAYOI インスタンスを作成 弥生製品プロフェッショナル 2 ユーザー、弥生会計 AE:SQL Server 2008 R2 Express をインストールして YAYOI インスタンスを作成
SQL Server 7.0 (MSDE 1.0)	インストールできません	
SQL Server 6.5		



新しいコンピューターへの移行について

弥生製品(プログラム)や事業所データを、別のコンピューターに移行する方法については、弊社ホームページの「新しいコンピューターへの移行」を参照してください。

弥生製品の DVD-ROM をお持ちでない方のために、プログラムを入手する方法も説明しています。

弥生会計をご使用の場合:

www.yayoi-kk.co.jp/ist/account/help/ikou.html

弥生販売をご使用の場合:

www.yayoi-kk.co.jp/ist/dealing/help/ikou.html



SQL Server 2000(MSDE 2000)がインストールされている場合

SQL Server 2000(MSDE 2000)は、動作対応外です。SQL Server 2000(MSDE 2000) をご使用の場合は、SQL Server 2014 または SQL Server 2008 R2 へ移行してください。

弥生会計ネットワーク for SQL または弥生販売ネットワーク for SQL をご使用の場合は、お持ちの SQL Server 2014、SQL Server 2012、SQL Server 2008 R2/2008、SQL Server 2005 のいずれかへ移行を行ってください。

→SQL Server 2000 からの移行(P117)

他の弥生製品をご使用の場合

SQL Server 2014 または SQL Server 2008 R2 への移行を行う前に、YAYOI インスタンスを使用する他の弥生製品が移行する SQL Server に対応していること、移行に際してライセンスなどに問題がないことをご確認ください。

対応していない製品がある場合や問題がある場合は、対応製品へのバージョンアップや、データを保存するコンピューターの変更を検討してください。

→データを保存するコンピューターの変更(P118)

SQL Server 2005 がインストールされている場合

SQL Server 2005 がインストールされている状態では、SQL Server 2014 をインストールできません。他のコンピューターにインストールしてください。

SQL Server 7.0 または 6.5 がインストールされている場合

SQL Server 7.0、または SQL Server 6.5 がインストールされている状態では、弥生製品のデータベースはインストールできません。他のコンピューターにインストールしてください。

2 ネットワーク環境に関する注意

弥生製品を運用するネットワーク環境についての注意事項を記載します。お使いのネットワーク環境を確認してください。

ネットワーク環境の変更や設定は、システムへ大きな影響を与える場合があります。設定方法等が不明な場合は、必ずシステム管理者に確認してください。

「サーバー」とは、弥生製品のデータを保存するコンピュータを指します。「クライアント」とは、弥生製品を操作するコンピュータを指します。システム構成については、別冊『インストール・コンバートマニュアル』を参照してください。

環境や設定を確認するために、次の項目をチェックリストとしてご利用ください。問題がなければボックス ☐ に、チェック ☒ を入れます。

2-1 ネットワーク(LAN)環境について

弥生製品では常に事業所データと接続し、入力した取引などを保存するため、安定したネットワーク環境で運用してください。

☐ 通信速度について

10Base-T 以上のネットワーク環境で運用してください。

☐ 無線 LAN について

無線 LAN の環境はネットワークの接続が不安定でデータ破損の原因となります。有線 LAN の環境で運用してください。

☐ DNS について

弥生製品を運用するコンピュータは、すべて同一の DNS に接続されている必要があります。また、DNS サーバーに関しても PING コマンドが正しく実行できる必要があります。DNS が有効になっていない場合は正しく運用できないことがあります。DNS が存在しない場合、各クライアントの hosts ファイルを適切に設定する必要があります。

☐ コンピューターのセグメント

サーバーとクライアントコンピュータのセグメントが異なる場合は、弥生製品からサーバーを参照することはできません。サーバーとクライアントコンピュータは同じセグメントで運用してください。

☐ その他のネットワークに関する注意

ネットワークハブが過度にカスケード接続されている場合は正しく運用できない場合があります。そのため、このようなネットワーク構成では使用しないでください。

☐ IP アドレスの割り当て

ルーターの DHCP 機能を使い、IP アドレスを自動割り当てしている場合は基本的に問題ありませんが、IP アドレスを手動で割り当てている場合は、複数のコンピュータに同一の IP アドレスが重複して割り当てられていないことを確認してください。適切に IP アドレスが割り当てられていない場合は正しく運用できません。

☐ ネットワーク経路の確認

弥生製品を運用するコンピュータ間で PING コマンドを実行した際に正しく動作するネットワーク環境であることを確認してください。

PING コマンド: コマンドプロンプトから実行できるコマンドで、指定した IP アドレスを持ったコンピュータに対してネットワークの疎通を確認するコマンド

☐ ルーターでの接続

ネットワーク上に複数のルーターが存在している場合、異なるルーターに接続されたコンピュータ間では、弥生製品を正しく運用できないことがあります。同一のルーターに接続されているコンピュータ間で使用してください。

また、ルーターの設定によって、データへのアクセスが遮断されることがあります。サーバーの IP アドレスを固定するなど、アクセスが遮断されないための対応をしてください。

2-2 データベースをインストールしたコンピュータの設定

☐ SQL Server ネットワークユーティリティの設定

SQL Server 2014、SQL Server 2012、SQL Server 2008 R2/2008、SQL Server 2005 の SQL Server Configuration Manager (SQL Server 構成マネージャー) で確認できる「有効になっているプロトコル」に TCP/IP が入っていない場合は正しく動作しないことがあります (通常は初期設定されています)。

☐ 省電力の設定

弥生製品の起動中に、サーバーが「スリープ」や「スタンバイ」などの状態になると「事業所データとの接続が失われました」などのエラーメッセージが表示されます。サーバーの省電力の設定で「スリープ」や「スタンバイ」などの設定をしている場合は、弥生製品を正しく運用できない場合があります。

→「事業所データとの接続が失われました。」と表示された場合 (P113)

□ ファイアウォールの設定

ファイアウォール機能の制御により通信が遮断されていると、「サーバー/フォルダーにアクセスできませんでした」などのエラーメッセージが表示されてデータを開けません。この場合は、サーバー側のコンピューターのファイアウォール機能で、「SQL Server」の通信を許可する必要があります。

ファイアウォールの設定方法については、次の参照先をご覧ください。

→ファイアウォールの設定(P96)

→別途ファイアウォールソフトをインストールしている場合(P107)

□ コンピューター名の変更

コンピューター名を変更すると、SQL Server のすべてのインスタンスは使用できなくなります。

コンピューター名の変更は、システムに大きな影響を与えるだけでなく、SQL Server を使用している他のソフトウェアが使用できなくなるなどの場合があります。コンピューター名を変更する前にシステム管理者に確認してください。コンピューター名を変更する場合は、次の手順で YAYOI インスタンスのデータを移行してください。



データベース(YAYOI インスタンス)の削除

YAYOI インスタンスを削除すると、YAYOI インスタンスに保存されているすべてのデータが削除され、元に戻すことはできません。

1. YAYOI インスタンスのすべてのデータをバックアップ
一括バックアップツールを使うと YAYOI インスタンスのデータを一括してバックアップできます。
2. YAYOI インスタンスの停止
3. YAYOI インスタンスを削除
4. コンピューター名の変更
5. データベース(YAYOI インスタンス)を再インストール
6. 手順 1 で作成したバックアップファイルを復元

□ ユーザーアカウントの設定

ワークグループを使用しているなど、ドメイン管理がされていない場合は、サーバーにアクセスする Windows のユーザーアカウントを、サーバーで設定する必要があります。

□ サーバーへのアクセス権限の確認

クライアントコンピューター(他のコンピューター)から新規データを保存したり、作成したデータにアクセスしたりするには、サーバーの「書き込み」「読み取り」「変更」のアクセス権限が必要です。

※ サーバーへのアクセス権限の設定方法は、ネットワークの構成により異なります。ネットワーク管理者にご確認ください。

□ 共有フォルダーのアクセス権限の確認

バックアップファイルの作成と復元では、サーバー(データベースをインストールしたコンピューター)の次のバックアップ用の共有フォルダー(「Backup」フォルダー)を一時的に使用しています。

この共有フォルダーの設定が行われていないとバックアップファイルの作成と復元ができません。

サーバーにアクセスしてバックアップファイルの作成や復元を行うには、クライアントコンピューター(他のコンピューター)のログインユーザーに、サーバーへのアクセス権限が必要です。アクセス権限の設定方法は、ネットワーク管理者にご確認ください。

● 初期設定のバックアップ用の共有フォルダー

システムドライブが C ドライブの場合

「C:\ProgramData\Yayoi\Backup」

< 弥生製品ネットワーク for SQL の場合 >

弥生製品ネットワーク for SQL の場合、バックアップ用の共有フォルダーは自動で作成されません。任意のフォルダーをバックアップ用の共有フォルダーとして設定してください。

バックアップ用共有フォルダーは、必ず作成してください。

→バックアップ用共有フォルダーの設定(P108)

2-3 ネットワーク上のコンピューターの設定について

□ ドメインの使用

ドメインを使用する場合、すべてのコンピューターが同一のドメインに属している必要があります。異なるドメインに属するコンピューターから、別のコンピューターに保存されている事業所データをバックアップしようとした場合は、ユーザーのログインに関するエラーが発生する場合があります。そのような場合には、バックアップを実行しようとしたコンピューターからデータベースがインストールされているコンピューターを Windows のエクスプローラーで参照し、ユーザーとパスワード認証によるログインをする必要があります。この作業は、どちらかのコンピューターを再起動するたびに行う必要があります。

□ 互いのコンピューターが検索で見つけられる

事業所データの「バックアップ」や「バックアップの復元」は、データベースの機能だけでなく、Windows のファイル共有も使用して行います。そのため、互いのコンピューターが、Windows の検索機能で検索できるコンピューターでない場合は正しく動作しません。

□ SQL クライアント設定ユーティリティ

cliconfig.exe で確認できる「プロトコルが有効になる順序」の最上位が TCP/IP になっている必要があります。

cliconfig.exe で「プロトコルの暗号化を設定する」にチェックが入っている場合はインストールができません。設定の変更についてはシステム管理者にご相談ください。

2-4 データベースについて

□ データベース(YAYOI インスタンス)の削除

YAYOI インスタンスを削除すると、YAYOI インスタンスに保存されているすべてのデータが削除され、元に戻すことはできません。

□ 復元先の SQL Server のバージョン

● 旧バージョンの SQL Server には復元できません

バックアップファイルは、バックアップ元の SQL Server のバージョンよりも古いバージョンの SQL Server には復元できません。バックアップ元の SQL Server よりも新しいバージョンの SQL Server に復元することはできます。

例えば、SQL Server 2008 R2 で作成したバックアップファイルは、SQL Server 2008/2005 には復元できません。SQL Server 2008/2005 のバックアップファイルは、SQL Server 2008 R2 に復元できます。

● SQL Server 2000 から SQL Server 2014、SQL Server 2012 には復元できません

SQL Server 2000 で作成したバックアップファイルは、SQL Server 2014、SQL Server 2012 には復元できません。SQL Server 2008 R2/2008/2005 には復元できます。

2

データベースのセットアップ

データを保存するコンピューター(サーバー)にデータベースをインストールします。製品の種類によってセットアップの流れが異なります。

1 データベースのセットアップの流れ	16
2 弥生製品プロフェッショナル2ユーザー/弥生会計 AE の場合 ...	20
3 弥生製品ネットワーク with SQL の場合	27
4 弥生製品ネットワーク for SQL の場合	39
5 YAYOI インスタンスの確認と実行方法	74
6 一括バックアップツールのインストール	75